

## 「成長の二学期」

1年3組 小林

「いよいよ1年で1番長い2学期が始まる。」こう思いながら、二学期を迎えました。新型コロナウイルスの影響の中、行事がどうなるかわからない状況で不安を抱えながらの始まりでした。

2学期は主に、体育祭や20キロハイク、新人戦がありました。この3つは、規模を縮小、または例年とは違う形で開催されました。いろいろな行事が中止されることが当たり前になりつつあった中、開催されたことは本当に嬉しかったし、そこに至るまでにいろいろ動いてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

大きな行事の一つ、20キロハイクでは、クラスの中が一層深まりました。歩きながら、まだあまり話したことの無い人と会話をしたり、歩き疲れた友達に、班長や、友達が「がんばって、あと少し。」と声掛けしたりする姿が見られました。協力すること、励ましあうことの大切さを学ぶことができました。また、体育祭も成長した行事の一つです。特に、台風の目では、クラスの団結力がかなり高まりました。同じ失敗を、繰り返してしまう中、自分たちで話し合い、改善点を探り、何度も何度も練習をしました。練習を続けることで、だんだんと息があってくるのを感じることができました。本番では、いつも以上に声を掛け合い、何よりもミスを大幅に減らすことができました。結果は、2位。クラスの団結力がたかまり、さらに「練習にまさるものはない。」という言葉を実感し、また一つ成長した行事でした。

また、2学期は自分自身もより成長したと思います。学年委員として、ここまで多くの場面で「判断力」を試されました。私はもともと優柔不断で、物事を決めるのに時間がかかっていました。しかし、多くの経験を経たおかげで今では正しい判断が、素早くできるようになりました。また、人前で話をする機会もおおくあったため、いつの間にか人前で話すことが苦ではなくなりました。また、3年生の先輩方が活躍された学総から半年、新人戦が行われました。1年生ながら出場の機会をもらえた自分自身も貴重な経験をすることができました。そして、自分たちが主役になる時がどんどんと近づいていることを実感した大会でした。

1年間で最も長い2学期は、瞬く間に過ぎていきました。体育祭や、20キロはイクでは、クラス全体が成長し、学年委員の仕事や、新人戦を経験することで自分自身も大きく成長できました。2学期が終わるということは、3学期が始まるということ。つまりは、1年生がもうすぐ終わってしまうということです。これからもクラスや自分も成長できるよう、1日1日を大切に過ごし、充実させ、2年生に向けて準備していこうと思います。